

2016年度

学校情報の公表

2017年 5月 16日

学校法人川原学園

東京動物専門学校

## 目 次

1. はじめに	1
2. 学校概要	3
3. 教育活動	5
4. 学業成果	5
5. 学生支援	6
6. 教育環境	6
7. 学生募集	7
8. 財務	8
9. 地域貢献・地域連携	8
10. 表	
表1 平成28年度 卒業生就職状況	
表2 平成28年度中に学校主導で取得した資格	
表3 過去7年間の自主退学者数と退学時期	
表4 学生課が扱った学生の相談、及び指導内容とその延べ件数	
表5 八千代本校舎 学生利用施設	
表6 富里実習施設主要動物舎	
表7 富里実習施設教材動物	
表8 検査用設備、及び備品	
表9 財務消費比較表（5カ年）	

## 1. はじめに

東京動物専門学校は、1987年東京都三田に東京動植物専門学校としてスタートし、1990年千葉県知事より専修学校の許可を得て、学校法人川原学園、東京動物専門学校として開校しました。開校にあわせて千葉県八千代市に八千代本校舎、富里市に富里実習施設も完成し、動物管理技術者を養成する専門学校として今日に至っております。

学校創設から30年近く経過し、多くの卒業生が北海道から九州沖縄まで動物園や水族館をはじめ多くの動物関連施設で動物と一緒に働いております。

また2013(平成25)年には更なる職業教育の充実を図る観点から、企業等との密接な連携を図り、最新の実務の知識等を身につけられるよう教育課程を編成し、より実践的な職業教育の質の確保に組織的に取り組む専門課程を文部科学大臣が「職業実践専門課程」として認定する制度ができ、東京動物専門学校(以下本学)も2014(平成26)年3月にその認可を受け、職業教育やキャリア教育の充実に努めております。また学校情報についても従前通り公表、公開いたします。

## 2. 学校概要

### (1) 校訓

東京動物専門学校の校訓は「心・知・技・体」です。これは、動物管理技術者(飼育技術者)の必須条件であり、まず動物に対する正しい考え方(心)、最小限必要な知識(知)、基本的な技術(技)、及び健康な体(体)をバランス良く兼ね備えた技術者を育成することです。

このうち、学校の授業で教授できるものは「知」と「技」であり、「心」と「体」は2年間の学校生活を通じての様々な体験より身に付くものであると考えております。

### (2) 学校の歩み

#### ① 学校誕生

東京動物専門学校は、川原鳥獣貿易株式会社が母体となっております。前理事長川原義郎は、全国の動物園や水族館からの要望に応じて世界中からの動植物を取り扱ってきました。その仕事を通じて、これらの飼育現場には、動物に対する正しい知識と技術をもった人材がますます必要になると感じ、動物の飼育や看護の専門技術者を養成する学校を設立いたしました。

#### ② 学校の概要

名称 学校法人 川原学園 東京動物専門学校

住所 〒276-0046

千葉県八千代市大和新田1093番8号

TEL 047-459-0511 (代)

フリーダイヤル 0120-010520

沿革	1987年 4月	前理事長の川原義郎が東京都三田に東京動植物専門学院を設立し、開校
	1989年 12月	八千代本校舎完成
	1990年 2月	富里実習施設完成
	1990年 3月	千葉県知事より専修学校の許可を得て、学校法人川原学園を設立し、植物部門を廃止すると共に、東京動物専門学校と校名を変更
	1990年 4月	東京動物専門学校開校
	1992年 3月	本校新校舎完成
	1993年 4月	学科を統合し、コース制を導入
	2014年 3月	文部科学大臣より「職業実践専門課程」の認可を受ける
	2015年 4月	東京動物専門学校 動物管理科 各学年 140名に学則変更
課程	動物管理専門課程	動物管理科 動物飼育技術者コース (動物看護技術者コースは、廃止)

### 3. 教育活動

#### (1) 教科数、体系と目標

授業教科は2年間、49科目数、87単位で構成されております。2年間での総授業時間2451時間で、内講義は945時間、実習は1506時間。詳しくは、職業実践専門過程の基本情報にて、授業科目等の概要を示しております。

実習のひとつとして施設研修を2年次後期に実施しております。職業教育協定書(事業契約契約書)を締結した事業者のもとにて、基本的には4週間(総時間数182時間)の動物飼育実習分野における実践的な職業教育を受け、就職に結びつけております。

#### (2) 資格試験(各種資格)

潜水士/ダイビング、危険物取扱者(乙種)及び赤十字救命法救急員講習会、玉掛け技能講習について、取得方法の指導、試験についての相談、アドバイス等、資格取得講座を開設し希望者には受講させています。

#### (3) 教職員

2016年(平成28年)5月1日現在の教職員数は、総数で36名。

教員数 27名(本務 11名 兼務 15名)

職員数 4名(本務 4名 兼務 0名)

2016年度では、新入学生128名でしたが、教職員体制は前年と同様な体制を維持しております。

#### 4. 学業成果

##### (1) 就職指導

###### ① 就職指導の方法

本校での就職指導は、大別して3つの方法で行っております。

第一の方法は、全体指導です。1学年に入学した時点から、全学生に「就職のしおり」を配布すると同時に、教育課程の進行状況に合わせて就職に対する準備の方法を指導しております。

第二に「就職ガイダンス」なる就職窓口を、学生課が週1回の割合で授業時間をさいて開き、個人的に就職の相談にのっております。

第三は、2学年後期（実践段階）に行われる施設研修です。学生が具体的に就職を希望する施設（企業）を決定し、学校が職業教育協定書の締結及び研修の申し込みをし、許可が与えられた場合に約4週間にわたって研修するものです。専門学校で学ぶこととは、就職することとが結びついていることでもあります。就職指導も大切ですが、それ以上に学生には専門知識・技能を学ぶことの大切さを絶えず教示しております

###### ②就職状況

表1に2016(平成28)年度卒業生の就職状況を示しました。平成28年度卒業144名(就職希望者143名)で就職者数は143名、就職率100%でした。

就職先は大半が動物関連業種であり、動物園、水族館で55名となり、その他観光牧場、馬関連施設、酪農・畜産、実験動物、動物病院、ペット関連等非常に多岐にわたっております。近年では今までとは異なるふれあい動物による動物ふれあい施設が誕生し、就職する学生も見られます。

##### (2) 資格取得状況

表2に2016年度の学校主導で取得した資格状況を示しました。国家資格の危険物取扱免許(乙種)、潜水士については、1学年次にて取得しています。特に国家資格取得のための補講は強化しております。民間資格の赤十字救急法救急員については、大半の学生が取得しており、緊急時での初期対応に役立つものと期待しています。また2015年度より玉掛け技能講習を実施し、就職後即役立つ実践技能として習得させております。

##### (2) 自主退学者の状況

表3に2010年より2016年までの7年間の自主退学者と退学時期をまとめました。1学年では前年の8名から2016年度では9名になり少し増えております。しかし2010年代初めに比べれば激減しております。自主退学の理由として、進路変更、健康上の都合等であり、例年と同じです。

## 5. 学生支援

### (1) 学生相談

表4に、学生課が扱った学生の相談、及び指導内容とその延べ件数を2015年度2016年度と並列して示しました。

全体の件数は、1学年では前年に比べて増加しており、2学年では若干減少しております。内容としては出欠席、定期試験の件数が多く、例年通りでした。

私生活関係では特に1学年に健康面での相談が多く、全国から学生が集まっており、自宅を離れ、寮やアパートなどでの慣れない新しい生活による健康状態の変調などが、主な内容です。

個々の学生の「心」と「生活態度」問題には、組織的に対応しており、従来の学生とは異なり、大きな問題を抱える学生は見られないが、逆に、動物飼育者として、余りにも優しすぎる、心の弱い者もおおり、適時指導を行っております。

### (2) 経済支援

#### ① 特別奨学金制度

学生に対する経済的な支援体制のひとつとして、学費を無利子で貸与する学校法人川原学園特別奨学金制度を設けており、学費を無利子で貸与する制度です。

#### ② 独立行政法人日本学生支援機構による奨学金制度

公的な奨学金制度を学生紹介するとともに、懇切丁寧に相談に対応し、経済支援をしております。

## 6. 教育環境

### (1) 八千代本校舎及び学生利用施設

講義による知識の習得の場としての八千代本校舎は、1989年（本館）及び1992年（新館）に建設され、教室の面積によりコース別講義室（本館）と学科講義室（新館）に分かれております。

また学生利用施設として、自習施設（図書室）、福利施設としての学生ホールも備えている。詳細の面積等については、表5に示す。

学生数増加に伴い、教室内に大型TVを設置し、映像による講義の効果を高めており、学生にも好評です。また数年前に取得した隣接地には芝生による緑化を計り、昼休み時の軽い運動や学校祭などで使用され、有効に活用されています。

### (2) 富里実習施設

表6に富里実習施設の主要動物舎面積を示しております。動物舎は第1号より第22号まで22棟あり、そのほかに放飼場、馬場、馬放飼場、付属農園があります。これらの動物舎は、本校の学生が動物舎の構造を実際に理解できる目的で、学生等の実習を兼ねながら手造りしたものが多く、体験実習の成果であります。また展示施設ではなく、あくまでも飼育施設であり、動物福祉に配慮した構造としておりま

す。

表7には、富里実習施設において飼育している教材となる動物を、哺乳類から鳥類、は虫類、両生類、魚類まで252種類1,564点(2017年3月末)動物園や水族館等で飼育されているような動物が実習に供されています。

(3) 検査用設備及び備品

検査用設備及び備品を表8に挙げました。

(4) 防災対策

毎年7月に八千代校舎にて、八千代市消防署の協力を得て、火災防災訓練を、12月には地震防災訓練を実施しており、対象は学生及び教職員全員です。

## 7. 学生募集

(1) インターネットでの情報提供

スマホに対応したホームページにより、学校案内、学べること、キャンパス紹介、卒業生の活躍、オープンキャンパス案内、最新情報ブログなど内容は、随時最新の情報に更新しております。また資料請求や問い合わせもウェブ上でできるようになっております。資料請求に基づき、学校案内を希望者には送付しております。

(2) オープンキャンパス

① 学校説明会

学校説明会は、八千代校舎にて行い、学校及び学校生活全般の説明のほか、入学試験、学費、就職のことなど、なんでも質問できるようになっております。また教室などの見学も併せて行い、学校の教育方針、内容を十分に理解、納得した上で申請に臨むよう入学希望者に説明しています。学校説明会は、毎年3月より2月まで10数回実施しました。

② 授業見学

八千代校舎にて実際に学生が学ぶ様子を見学するもので、学校の雰囲気を感じることができます。また休憩時間には、在学生と話すこともでき、若者同士による情報交換の時でもあります。授業見学は月～金曜日まで事前予約にて受け入れております。

③ 体験入学(実習体験)

富里実習施設の実習施設で実施している飼育実習の一部、動物のエサづくりやエサやり、乗馬体験などが体験できます。体験入学は、6月～9月の日曜日に8回ほど開催し、施設見学も体験入学実施月以外の時期に開催しており、どちらも事前予約が必要です。

(3) 学校訪問

関東圏の高等学校には庶務課や学生課の職員が訪問し、学校の進学担当者に直接面会し、学校案内に従い情報提供するとともに、受入れ募集を依頼しています。

## 8. 財務

表9に財務消費比較表にて平成24年度より平成28年度までの過去5カ年分を示しました。この数年間は280名前後の学生数で推移し、収入の大半を占める学費等の収入も横ばいで安定しています。財務健全化には消費支出の抑制も必要ですが、その大半は固定的経費であり、今後共経年劣化する建物の維持管理費の捻出が必須でもあり、入学生の確保は、専門学校での維持管理には必須の要件です。

近年TV取材が多くなり、マスメディアへの露出が学生募集には貢献していると思われます。

## 9. 地域貢献・地域連携

### 第28回学校祭

2016年9月23日(金)から25日(日)までの3日間、八千代校舎内及び校庭にて、第28回目の学校祭を開催、延べ1万人以上の来場者で賑わいました。富里実習施設より動物を移動し、動物専門学校でなければできない内容の動物とのふれあい、エサやり、乗馬体験、動物たちのショー等盛りだくさんに実施しました。近隣より大勢の方に来場いただき、楽しい3日間のイベントとなりました。隣接地の緑化も図っており、学生及び来場者にも好評です。

この学校祭は、開校以来継続的に学生が主体となり、企画立案・作成準備・実施といった過程をこなし、運営するものであり、学生たちのコミュニケーションやリーダーシップなどの養成に大いに役立つものです。



表1 平成28年度 卒業生就職状況

2017年 5月 1日現在

卒業生数 : 144名  
 就職者数 : 143名  
 就職率 : 99%

主な就職先

就職先分野	企業数	求人数	就職者数
動物園	57	111	41
水族館	34	61	14
観光施設	19	29	22
馬育成・管理	29	82	11
酪農・畜産	88	223	7
実験動物	11	34	7
動物病院	203	435	5
愛玩系動物販売	12	23	17
動物訓練	7	28	1
動物ふれあい施設	5	12	9
その他動物関連	12	74	3
動物関連外	20	178	6
総合計	497	1,290	143

動物園	浜松市動物園、秋田市大森山動物園(*)、東京都恩賜上野動物園(*) 横浜市緑の協会(*)、埼玉県こども動物自然公園(*)、東武動物公園(*) 日本平動物園(*)、須坂市動物園(*)、名古屋市東山動物園(*)、海の中道海浜公園動物の森(*)、九十九島動植物園森きらら(*)、岩手サファリパーク、那須どうぶつ王国、富士サファリパーク、群馬サファリパーク、市原ぞうの国、伊豆アニマルキングダム、富士花鳥園 神戸どうぶつ王国、嵐山モンキーパーク、ネオパークおきなわ
水族館	鶴岡市立加茂水族館(*)、アクアワールド茨城県大洗水族館(*) 鴨川シーワールド(*)、葛西臨海水族園(*)、京急油壺マリンパーク 下田海中水族館(*)、伊勢シーパラダイス(*)、太地町立くじらの博物館(*)、宮島水族館(*)
観光施設	マザー牧場、成田ゆめ牧場、アロハガーデンたてやま、カワヨグリーン牧場、南が丘牧場、服部牧場、磯沼ミルクファーム、ワールド牧場、阿蘇ミルク牧場、ZOOKISS
馬育成・管理	ノーザンファーム、ビッグレッドファーム、キタジョファーム、ハヶ岳ロングライディング、パディフィールド、ウィルスタッド、パロミノポニークラブ、リバーサイドステーブル浜北、久米島馬牧場
酪農・畜産	那須千本松牧場、千葉県みるく農業協同組合、千葉エッグファーム きうち牧場、みうら、丹後ジャージー牧場
実験動物	JTクリエイティブサービス、埼玉医科大学、三協ラボサービス
動物病院	小鳥の病院 BIRDHOUSE、中馬動物病院、四谷どうぶつ病院
愛玩系動物販売	ペットのコジマ、こんぱまる、COO&RIKU、AHB、東京アクアガーデン
動物訓練	日本盲導犬協会
動物ふれあい施設	MOFF アニマルワールド、アニマルームいけもふ、とりみカフェほこの森、鳥カフェ
その他動物関連	所沢文化幼稚園自然観察園

(\*)印は、契約社員等又はアルバイト契約(更新条件付)

東京動物専門学校

表2：平成28年度中に学校主導で取得した資格

資 格 名	国家資格 民間資格 の区別	取 得 者 数 (人)	
		1 学年次学生	2 学年次学生
危険物取扱免許 (乙種)	国	3 3	0(61)
潜 水 士	国	5 7	0(60)
赤十字救急法救急員(※)	民	1 2 2	0(147)
玉掛け技能講習	国	1 2 2	1 4 2
		3 3 4	1 4 2
	合 計	476	【27年度 269】

( ) 昨年度1学年次に取得した者

表3：過去7年間の自主退学者数と退学時期

単位（人）

入学年度	入学者数	退学者合計 (退学者の入学者 に対する割合%)	1 学年前期	1 学年後期	2 学年前期	2 学年後期	留年者
2010年	98	26 (26.5)	8	13	1	4	
2011年	136	28 (20.6)	10	11	1	6	2 (自主退学)
2012年	158	26 (16.5)	6	13	3	4	特別コース1名休 学1名 (自主 退学)
2013年	150	27 (18.0)	6	15	5	1	
2014年	152	18 (11.8)	3	10	3	2	特別コース1名
2015年	155	12 (7.7)	4	4	3	1	
2016年	128	9 (7.0)	4	5			

表4：学生課が扱った学生の相談、及び指導内容とその延べ件数

内 容	学 年		2 学年 (件)	
	1 学年 (件)	2 学年 (件)	2015年度	2016年度
学 校 関 係				
学 校 生 活 全 般	7	26	7	0
進 路 変 更	3	3	1	0
友 人 関 係	0	0	0	0
出 欠 席	65	59	40	56
定 期 試 験	46	70	52	44
学 外 研 修	0	0	0	0
私 生 活 関 係				
健 康	16	5	5	0
私 生 活 全 般	0	2	0	0
将 来 へ の 不 安	0	0	0	0
合 計	137	165	105	100

表5:八千代本校舎 学生利用施設

校舎	用途	名称	面積 [ m <sup>2</sup> (坪) ]	備考
本館	コース別講義室	102教室	60.75 (18.37)	
		201教室	60.75 (18.37)	
		301教室	60.75 (18.37)	
		302教室	60.75 (18.37)	
新館	学科講義室	103教室	60.325 (18.28)	
		203-1教室	120.65 (36.49)	203-2教室と合わせて、教室として使用可。
		203-2教室	120.65 (36.49)	同上
		303教室	279.30 (84.48)	
	自習施設	図書室	33.77 (10.21)	
蔵書数 (2017年3月31日現在) 2,029 冊				
新館	福利施設	学生ホール	112.825 (34.09)	

表6：富里実習施設主要動物舎

名 称	面積 [ m <sup>2</sup> (坪) ]
第1号 動物舎	1 6 7 . 2 0 ( 5 0 . 5 8 )
第2号 動物舎	1 0 9 . 5 0 ( 3 3 . 1 2 )
第3号 動物舎	1 9 3 . 9 0 ( 5 8 . 6 5 )
第4号 動物舎	2 8 1 . 4 0 ( 8 5 . 1 2 )
第5号 動物舎	1 8 2 . 6 0 ( 5 5 . 2 4 )
第6号 動物舎	2 7 0 . 0 0 ( 8 1 . 6 8 )
第7号 動物舎	2 3 6 . 0 0 ( 7 1 . 3 9 )
第8号 動物舎	1 3 2 . 2 0 ( 3 9 . 9 9 )
第9号 動物舎	1 3 2 . 2 0 ( 3 9 . 9 9 )
第10号 動物舎	2 0 7 . 7 0 ( 6 2 . 8 3 )
第16号 動物舎	6 7 . 5 0 ( 2 0 . 4 2 )

第17号 動物舎	34.00 (10.29)
第18号 動物舎	32.40 (9.80)
第21号 動物舎	50.80 (15.37)
第22号 動物舎	20.90 (6.32)
牛 舎	64.80 (19.60)
放 飼 場	3,300.00 (998.25)
馬 場	2,000.00 (605.00)
馬 放 飼 場	2,067.00 (625.27)
付 属 農 園	17,088.00 (5,169.12)
合 計	26,638.10 (8,058.03)

各獣舎の広さは運動場を含まず

表7：富里実習施設教材動物

綱	種	点数
哺乳	123	698
鳥	85	807
ハ虫	29	44
硬骨魚	15	15
合計	252	1564

(2016年3月末現在)



表8：検査用設備及び備品

1	AC-1システムケージ L型	1
2	入院用ケージ	1
3	体重計診療台	1
4	手術台	1
5	動物全身麻酔装置	1
6	心電図モニター	1
7	レントゲンシステム	1
8	レントゲンカセット	9
9	シャウカステン	1
10	グリット	1
11	プロテクターグローブ	2
12	プロテクターエプロン	1
13	無影灯	1
14	保育器	1
15	内視鏡	1
16	自動高圧蒸気滅菌器	1
17	ガス滅菌器	
18	ガス滅菌器 カスト	1
19	ハマトリット遠心機	1
20	殺菌線消毒器	1

28	耳鏡セット アンテナ付	6
29	眼鏡セット	1
30	ウッド灯	1
31	尿比重計	1
32	卓上タンパク比重計	1
33	タンパク屈折計	1
34	ヘマトクリットリーダー	5
35	血球計算盤(3種類)	17
36	黄疸指数計	2
37	聴診器(学生用)	20
38	聴診器(リットマン)	2
39	上皿天秤	1
40	電子天秤	1
41	骨格標本	1
42	模型(眼・耳)	3
43	CPR DOG	1
44	術衣・有窓布・無窓布	37
45	ガルーシング台	17
46	シンク	4
47	ハンドドライヤー	7

21	顕微鏡(モニター付)	1
22	顕微鏡	27
23	スケラー	2
24	輸液ポンプ	5
25	輸液ポンプ	5
26	検眼鏡・耳鏡付	1
27	喉頭鏡	1

48	スタンドドライヤー	3
49	毛刈り用バリカン	6
50	シーラー	1
51	術衣棚	1
52	器械戸棚	1
53	物置戸棚	1
54	備品戸棚・物品棚	8

表9：財務消費比較表（5ヵ年）

	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度
事業活動収入合計	365,591,765	374,033,947	358,598,982	378,228,821	356,284,112
基本金組入合計額	12,716,760	14,040,280	14,506,980	24,472,347	13,638,660
事業収入の部の合計	352,875,005	359,993,667	344,092,002	353,756,474	342,645,452
事業活動支出の部の合計	330,218,547	334,477,745	340,575,038	336,928,456	334,465,997
当年度収支差額	22,548,085	25,515,922	3,516,964	16,828,018	8,179,455
前年度繰越収支差額	△ 477,674,559	△ 503,190,481	△ 506,707,445	△ 523,535,463	△ 531,714,918
基本金取崩額					
翌年度消費収支超過額	△ 455,126,474	△ 477,674,559	△ 503,190,481	△ 506,707,445	△ 523,535,463
減価償却費	12,540,610	11,831,009	15,009,099	14,652,699	13,893,391
在籍者数（5月1日現在）	<b>276名</b>	<b>294名</b>	<b>281名</b>	<b>289名</b>	273名
教員数（本務・兼務）	<b>28(11・17)名</b>	<b>27(11・16)名</b>	<b>30(12・18)名</b>	27(10・17)名	27(10・17)名
定員に対する現員比較（%）	98.57%	122.50%	117.08%	120.42%	113.75%